

資産形成王 簡単ルール説明書

「資産形成王(仮)」は一言でいうと、資産(現金・株券・投資信託)を増やしていくことを目的にする資産形成をモチーフにしたカードゲームです。数々のイベントを経て、最後に現金、株券、投資信託の資産カードが一番多く持っていた人が勝者です。(プレイ人数:2~4名)

【資産カード】



【イベントカード】



ゲームの準備

- まずは資産カード(現金・株券・投資信託)をプレイヤー全員の手の届くところに積んでおきましょう。
- プレイヤーは最初に現金カード3枚を手札として持ちます。株券や投資信託の購入に備えます。手札は他の人に見せてもOKです。
- その後、プレイヤーは自分のイベントカードをシャッフルし、裏返しでそれぞれ山札を作ります。



ゲームの流れ

まずは現金で株券か投資信託の資産を購入します。ゲーム開始時点では最初に資産カードを交換するプレイヤーを決めておきましょう。具体的な流れは以下のようになります。

- 1) 最初のプレイヤーは現金カードと株券か投資信託のどちらかの資産カードと交換します。1回の交換は **最大2枚まで** です。
※ただし投資信託は、6ターン目から他の資産カードへの交換が可能です。
ex) 現金カード2枚を株券1枚と投資信託1枚に交換する。
- 1) カードを交換したら、次は自分のイベントカードの山札からカードを枚引きします。
- 2) カードに記載されたイベント(指示)に従ってゲームを進行します(ここで資産カードが増えたり・減ったりします)。
- 3) 最初のプレイヤーのイベントが発生した後は、時計回りの順で次の人に手番が移ります。最初のプレイヤーと同様に現金を資産カードと交換してからイベントカードの山札を引いてゲームを進めていきます。
- 4) 【ゲームの終了】全員が手番を10回終えたら、ゲーム終了です。所有する資産カード(現金・株券・投資信託)の合計枚数が1番多い人が勝者です。1番多い人が複数人いる場合は、勝者が決定するまで続けます。

◆その他のルール◆

- イベントカードは『全員が対象』と書いてあるカード以外は引いた人のみが対象です。
- 各プレイヤーは任意のタイミングでゲーム中に2回まで、イベントカードの山札のシャッフルをできます。
- 資産カードが0枚になった時は、次の自分の手番開始時に現金カードを枚もらいます。その後、次の人に手番が移ります。(資産カードの交換やイベントカードは行えません)

以上